

技能・タスク型プログラム 活動・ユニット案 「意見文を書く」

ユニット名	「意見文を書く」	
対象児童生徒	() 小学低 () 小学中 (○) 小学高 (◎) 中学生 中学1年生 滞日1年 出身:出身国を特定しない 母語:特定の母語を前提としない	
時間	(30) 分×(3) 回 (1・2・3回目) (50) 分×(1)回 (4回目)	
形態	(◎) 少人数グループ (○) 個別指導	
日本語の力 (ことばのものさし)	身近な場面や関心のある話題について、既習の語彙や表現を使って、単文や簡単な複文で話すことができる。年齢相応の話題であっても、語彙や表現、文章構造が易しく、短い文章であれば、理解することができ、誤用はあるが、単文や重文、簡単な複文を用いて文章を書くことができる。 [聞く・話す] ステップ:4 [読む] ステップ:5 [書く] ステップ:4 [聞く・話す] ステージ:E [読む] ステージ:D [書く] ステージ:D	
目標 (Can-doで)	<ul style="list-style-type: none"> 理由と根拠、事実と意見を表すのに相応しい語彙や表現、事柄間の関係を表す文構造を利用し、段落を意識して文章を書くことができる。 助言を受けたり推敲したりして、論理展開の整った文章を書くことができる。 社会に関する多様なテーマに関心を持ち、意見を積極的に文章で表そうとする。 	
主な技能	「主張→理由・根拠→主張」の構成で意見文を書く。	
タスク	自分の立場を明確にし、理由や根拠を示して、意見文を書く。	
コア日本語語彙・表現	<ul style="list-style-type: none"> 私は～と思う。理由は、2つある。第1に～からだ。第2に～からだ。一方で、～。けれども、～。したがって、私は～と思う。 語彙・表現は、意見文のトピックによって異なる。各時間の目標欄を参照のこと。	
主な活動	学習活動	学習方略
	① 好きな季節とその理由について、ペアで話し合い、文章構成のモデルを利用して、「好きな季節、理由2点、まとめ」の構成で意見文を書く。(第1回) ② 制服について、賛成、反対の立場を明確にして話し合い、理由と根拠を区別して整理して意見文を書く。(第2回) ③ ボランティア活動について、表やグラフから読み取ったことを話し合い、事実と意見を区別して意見文を書く。(第3回) ④ SNSに関する新聞記事を読んで利点と欠点について話し合い、賛成か反対か立場を決め、反対意見(反論)を想定して、意見文を書く。(第4回)	<ul style="list-style-type: none"> 英語など既習の言語で学んだ文章構成を利用する。 友達の発言から関連することを考え、アイデアを広げる。 ブレインストーミングで自分の意見や考えを整理する。 モデルを参考に内容を構成する。 意見文に合う表現を選択して利用する。 グラフのスキルを活用して情報収集する。 事実と意見の組み合わせで構成する。 意見と事実の述べ方を選択して利用する。 思いつく理由や根拠を複数挙げて、それを整理する。 反論とそれに対する意見を述べる表現を利用する。
アイデア	<生徒の多様性への対応> <ul style="list-style-type: none"> 1時間目の活動は、小学校中学年から可能である。 2時間目以降の活動は、母語等で意見文を書く力がある児童生徒であれば、興味関心に応じてテーマを設定し、翻訳アプリなどを活用することで、実施できる。 <他のプログラム・教科との関係> 可能であれば、国語や英語の意見文を書く単元に関連付けて実施する。	

【1回目の授業の学習活動案】

本時の目標		身近な話題(ここでは好きな季節)について、理由や根拠を示した短い文を書くことができる。	
分	展開 (子ども主語)	活動時の表現 教師と子どもに分けて	○教材 ◇支援 △留意点
3	導入 1 今日のテーマを知る。	T: 皆さんの国では、夏(冬)何をしますか。話してください。 S: (自分の国の話をする。) T: 今日のテーマは、「あなたは夏と冬のどちらが好きですか。」です。 S1:私は夏。 S2:僕は冬。	△意見文の導入であるので、初めは母国のこと等、経験をもとに個人の考えを言う練習から始める。
17	展開 2 好きなことの原因を言う。 3 生徒同士のやり取り(ペア)で、具体例を出して詳しく説明したり、まとめることばを言ったりする。 4 構成モデルを参考にし、好きな季節とその理由について話す。	T: では、なぜ好きか、好きな理由を言ってください。 S1: スイカやトマトが好き。 プールやキャンプに行くことも好き。 S2: 冬のスポーツが好き。 クリスマスや新年に家族や親戚が集まるから。 S1: 冬のスポーツって何? S2: スキーやスケート。 S1: 「スキーやスケートなど、冬のスポーツが好きだからです」と言うとわかりやすい。 T: では、今言ったことを整理して、(モデル文を示して)この順番で言ってください。理由をいう時は、「～からです」を使いましたね。 S1: 私は、夏が好きです。理由は2つあります。1つ目は、スイカやトマトなど、夏の野菜が好きだからです。2つ目は、プールやキャンプなど、外で沢山遊ぶことができるからです。だから、私は夏が好きです。	△ブレインストーミングの要領で、沢山話させる。 ◇具体例を加え詳しくした文を板書する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> スキーやスケートなど、冬のスポーツ スイカやトマトなど、夏の野菜 </div> △詳しく話すと、理解を得やすいことを押さえる。 ○プリント(構成モデル) ◇黒板に構成モデルを示し、参考にするように促す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> (私・僕)は、(夏 ・ 冬)が好きです。 理由は2つあります。 1つ目は、()からです。 2つ目は、()からです。 だから、(私・僕)は、()が好きです。 </div> △理由を言う「～からです」は既習事項であるが、重要な表現であるので、再確認する。
10	まとめ 5 構成モデルを参考に、好きな季節について書いて、生徒同士で推敲し合う。(ピア・ラーニング)	T: では、今言ったことをノートに書いて、隣同士で発表しましょう。 良いところ、直した方がいいところを話し合ってください。 T: 話し合ったら直すところがあれば、家で直してきてください。	
評価の対象と観点		活動5で作成する作文に、理由や根拠を、モデルで提示した構成で書いているか。	

【2回目の授業の学習活動案】

<p>本時の目標</p>	<p>中学校の制服について、賛成、反対の立場を明確にし、理由や根拠を示して考えを話すことができる。 理由や根拠を示すのにふさわしい語彙や事柄間の関係を表す複文を使い、意見文を書くことができる。</p>		
<p>分</p>	<p>展開 (子ども主語)</p>	<p>活動時の表現 教師と子どもに分けて</p>	<p>○教材 ◇支援 △留意点</p>
<p>5</p>	<p>導入 1 新しいテーマを知り、賛成か反対かを言う。</p>	<p>T: みなさんの国の学校には、制服がありましたか。日本では、制服のある学校が多いですが、皆さんは制服をどう思いますか。</p>	<p>△母国の学校の制服事情について話をさせることで、本時のテーマに興味を持たせる。</p>
<p>15</p>	<p>展開 2 賛成や反対の理由を言う。 3 話した理由や構成モデル参考に、意見を述べる。 4 指摘を受け、意見文にふさわしい語彙や表現に修正する。 5 理由と根拠がわかる。</p>	<p>T: なぜですか。制服の良いところと良くないところを沢山言ってみましょう。 T: 制服に賛成か反対か、理由を2つ挙げて、話してください。 S1: 私は、制服に賛成です。理由は2つあります。第1に、朝の準備が簡単。何を着るか、考えなくてもいい。第2に、服がたくさんいらない。みんな同じ服。お金がある子も、お金がない子も同じ。したがって、私は制服に賛成です。 T: 理由をいう時、どう言うといいですか？ (ア) T: 「同じ」の違う言い方はわかりますか。(イ) T: 「平等」は全ての人が同じという時によく使います。(ウ) T: 「冬服は高いです。お母さんは困ります」を1つの文にするには、どうしたらいいですか？(板書: 高いです)「~ので/~から」を使いますね。(エ) T: 辞書やタブレットで意味を確認してみましょう。(オ) T: S2さんの文には、理由の部分と、理由の説明の部分があります。理由に下線____、理由の説明に波線_____を引いてください。 理由に詳しい説明があるとよくわかりますね。この詳しい説明の部分を「根拠」と言います。「根拠」はよく使うことばなので、覚えてください。</p>	<p>△賛成や反対の意見を自由に沢山言わせるとよい。 ◇生徒が言った理由を、①「賛成と反対に分けて板書」したり、②「短冊に書き、賛成と反対に分け」させたりして、理由が整理できるように支援する。 ◇黒板に構成モデルを示し、参考にするように促す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> (私・僕)は、()に(賛成・反対)です。 理由は2つあります。 第1に、()からです。 第2に、()からです。 したがって、(私・僕)は、()に(賛成・反対)です。 </div> <p>◇理由を言う表現「~から」が使えない生徒には指摘する。(ア) ◇生徒から表現やことばが出ない時は指導者が提示する。(イ) ◇新しいことばの用法を説明する。(ウ) ◇事柄間の関係を示すために単文を複文に直す。適切な接続助詞を示す。(エ) ◇母語の力が高い生徒には、母語で確認させる。(オ) ◇板書 僕は、制服に反対です。 理由は2つあります。第1に、制服は高いからです。冬服は高いので、経済的な負担が大きいです。第2に、制服は衛生的ではありません。毎日洗えないので、汚れても着ています。 したがって僕は制服に反対です。</p> </p>
<p>10</p>	<p>まとめ 7 ノートに書く。</p>	<p>T: では、今言ったことをノートに書きましょう。書いたものを発表してください。</p>	

	8 書いた意見文を発表する。	
評価の対象と観点	活動4の話し合いで、中学校の制服について、賛成、反対の立場を明確にし、理由や根拠を示して、意見を話しているか。 活動6の作文で、意見文にふさわしい表現や語彙を使い、意見文を書いているか。	

【3回目の授業の学習活動案】

本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動について、表やグラフを読見とることができる。 ・話し言葉と書き言葉を意識して「だ・である」体を使って文を書くことができる。 ・データを基に事実と意見を区別して、文を書くことができる。 		
分	展開（子ども主語）	活動時の表現 教師と子どもに分けて	○教材 ◇支援 △留意点
5	導入 1 アンケートの結果を読む。 ・自分で読む。 ・わからないことばについて、質問する。	T：みなさんは、ボランティアをしたことがありますか。プリントは、マリアさんのクラスでボランティア活動についてアンケートをした結果です。まず、自分で読んでください。 T：わからないことばはありますか。 S：「複数回答可」はどういうことですか？	△ボランティアの経験を尋ね、興味を持たせる。 ◇わからないことばをやさしい日本語で、説明する。
15	展開 2 表やグラフからわかることを言う。 ・アンケートの項目について、自身の経験や具体例を出して、たくさん話す。 ・アンケートの結果について、考えたことを自由に話す。生徒同士で質問し合ったり、考えを出し合ったりする。 ・自由に話したことから、事実と意見があることがわかる。	T：ボランティアをした理由で、一番多いのは何ですか。 S：さまざまな人と交流ができるからです。 T：さまざまな人と交流ができるって、どういうことですか？ S：団地の清掃ボランティアをした時、普段会わないおじいさんや小学生とも一緒に話をした。 T：ボランティアをしたいのに、しなかった理由は何ですか？ T：このアンケートを見て、みなさんはどう考えましたか。考えたことを自由に言ってください。 S：ボランティアを始める方法がわからない人が20人いるから、どうやって始めるか教えてあげると良いと思う。 T：今、みんなが言ったことを黒板に書いたので、見てください。この中で、アンケートからわかったこと「事実」と、みんなが考えたこと「意見」を分けてみます。 S：「ボランティアを始める方法がわからない人が20人いる」は事実、「どうやって始めるか教えてあげると良いと思う」は「意見」。	△グラフを読み取る時、数値の大きい(小さい)部分に注目することを指摘する。 △アンケートの質問事項が理解できているか、確認のための質問をして、沢山話させる。 △生徒から考えが出ない場合、母国での経験や、テレビやインターネットで見聞きしたことも思い出させる。 ◇生徒の考えを板書する。 ◇生徒が話したことに、事実と意見があることに気付かせる。
10	まとめ 3 ノートに意見文を書く。 ・指示を理解する。	T：では、次にボランティア活動について、意見文を書きます。初めに、グラフや表からわかった事実を書きます。次に、それに対する自分の考えを書きます。 T：話す時は「わかります」と言いましたが、書く時は「わかる」にします。例えば、「思います」はどう書きますか。	◇黒板に構成例を示し、参考にするように促す。 ・アンケートからわかったこと(事実) ~から、~がわかる。 ~が一番多い(少ない) ・アンケートから考えたこと(意見) ~が必要だ。 ~と考えている。

<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉を書き言葉に直す。 ・構成モデルを参考に書く。 	<p>T: では、書いてください。 書いたものを提出してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇話し言葉と書き言葉の違いを指摘する。 ◇複数の例を挙げ、確認する。
<p>評価の対象と観点</p>	<p>活動2で、数値に注目して、表やグラフを正しく読んでいるか。 活動4で、データを基に、事実と意見を区別して、文章を書いているか。書き言葉を使って、文を書いているか。</p>	
<p>△作文指導では、添削は不可欠である。添削する際には、「①表記や文法の間違いや直すところ ②間違いではないけれど、こちらの方が良いという提案 ③すごくいい、褒めるところ」を、色を変えたり、記号を付けたりして、明確に指摘するとよい。特に③は書くことのモチベーションを維持するために、全ての生徒に必要！</p>		

授業用 I	ボランティア活動	福祉 表やグラフを読んで、意見を言う
-------	----------	-----------------------

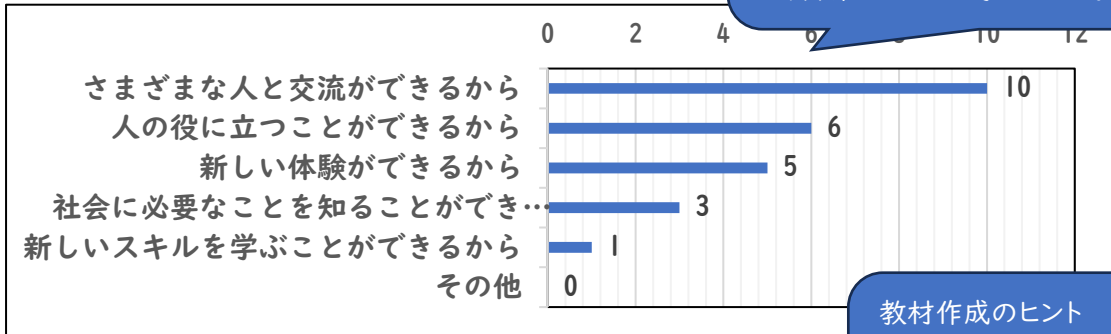
マリアさんのクラスでは、ボランティア活動についてのアンケートをしました。
 アンケートの質問と結果です。(マリアさんのクラスは35人です。)

【1】あなたは、最近1年間でボランティア活動をしましたか。

ボランティア活動をした	15人
ボランティア活動をしていない	20人

「ボランティア活動をした」人は、【2】に答えてください。

【2】あなたがボランティア活動をした理由は



教材作成のヒント

グラフや表を読む活動では、公開されている統計資料を使うことが多いが、難しすぎる場合は、自作することも考えられる。

教材作成のヒント

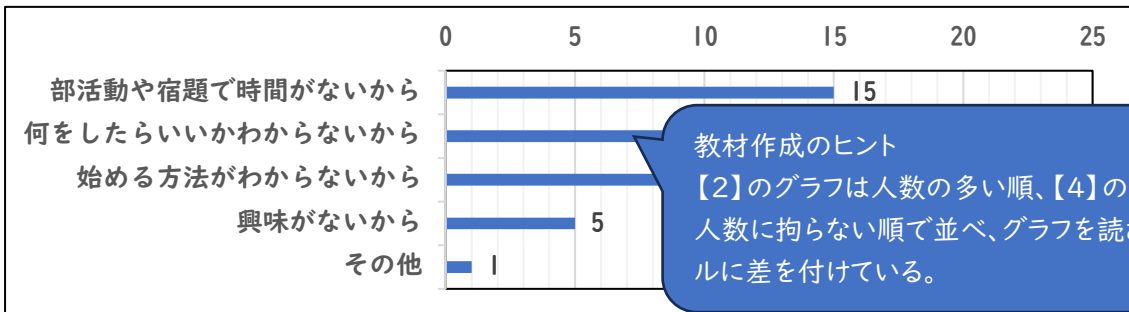
理由の説明なので、文末表現を「～できるから」「～ないから」に揃えている。

「ボランティア活動をしていない」人は、【3】 【4】に答えてください。

【3】あなたはボランティア活動を試みたいですか。

はい	15人	いいえ	5人
----	-----	-----	----

【4】あなたがボランティア活動をしなかった理由は何ですか。(複数回答可)



教材作成のヒント

【2】のグラフは人数の多い順、【4】のグラフは人数に拘らない順で並べ、グラフを読むレベルに差を付けている。

【4回目の授業の学習活動案】

<p>本時の目標</p>	<p>・時事問題(ここでは SNS)について、新聞記事を読み、理由や根拠を示して立場を明確にすることができる。 ・反対意見を想定して、それに対する意見も含んだ意見文を書くことができる。</p>		
分	展開 (子ども主語)	活動時の表現 教師と子どもに分けて	○教材 ◇支援 △留意点
<p>10</p>	<p>導入 1 NHKのやさしいことばニュースを読む。 ・わからないことばを確認する。 ・やさしいことばニュースの内容を簡潔に話す。</p>	<p>T: 今日は、初めにNHKのやさしいことばニュースを読みます。(授業用2) T: わからないことばがありますか。 SNS は、わかりますか? TikTok やXはやったことがありますか。 T: どんなことが書かれていましたか? S1: オーストラリアで16歳より小さい子はSNSを使えなくなった。 T: なぜ使えなくなったんですか? S1: 子どもによくない写真や動画がある。 S2: 危険から子どもを守るため。</p>	<p>・授業用のプリント ◇わからないことばの説明をする。 △内容を確認する。</p>
<p>48</p>	<p>展開 2 ブレーンストーミングの要領で、SNS の利点と欠点をたくさん挙げる。 ・意見文にふさわしい表現を知る。 3 SNS の利点と欠点がわかった上で、自分の立場を決めて、意見文を書く。 ・今まで学習した文の構成を参考にする。 4 書いた文を発表する。 5 反対意見も紹介して、文を書く。</p>	<p>T: みなさんは、オーストラリアの法律をどう思いますか。色々な考えがあると思うので、初めに SNS の良いところと悪いところをたくさん出してみましよう。 S1: たくさんの情報を集めることができる。 S2: 自分のことばで調べることができる。 S1: さまざまな人とやり取りができる。 S2: いつも夜遅くまで X を見る。 S1: YouTube は動画が続けて出てくるので、ずっと見る。 T: ずっと見てしまうことを「依存症」と言いますね。(ア) S1: 写真や住所が他の人にわかる。 T: 「個人情報が流出する」と言います。(ア) S2: SNS で知り合った人と本当に会って、だまされた人もいる。 T: 「犯罪に巻き込まれる」とも言いますね。 T: では、みなさんはオーストラリアの法律をどう思いますか。 T: 今まで、構成モデルを参考にして意見文を書きましたね。今回も、理由と根拠を示して、賛成か、反対かを書いてください。 T: 書いたものを発表してください。 S1: 私はオーストラリアの法律に賛成だ。理由は2つある。(後略) T: SNS については、S1 さんは賛成ですが、今回は、みんなが書いたことについて</p>	<p>△書く前に、沢山意見を言わせるよよい。 ◇SNS に関してよく使われることばや表現を示す。(ア) △既習事項(理由と根拠など)を思い出させる。 ◇全文を示すことが望ましい。個人指導ならば、指導者が生徒の書いた文を黒板に書く。グループ指導ならば、実写投影機を使うよよい。 ○実写投影機</p>

	<p>・反対意見を挿入するための表現を知る。</p>	<p>での反対意見も入れてみようと思います。</p> <p>例えば、S1さんの文のここに「一方で、SNS にはたくさんの情報を集めることができるという利点(よいところ)もある」を入れてみます。S1さんは、賛成のままでもいいですか？</p> <p>S1：でも、SNS で集める情報は自分の好きなことばかりだ。</p> <p>T：いいですね。</p> <p>意見文なので、ここでは「でも」の代わりに「けれども」を使ってみましょう。</p> <p>S2：僕は、オーストラリアの法律に反対だ。</p> <p>理由は2つある。第1に、いつでもどこからでもメッセージを送ることができるからだ。僕は、母国の友だちのFacebookを見て、いつもコメントを送っている。第2に、世界中の新しい情報を知ることができるからだ。TikTokを見ると、今世界で何が流行しているかわかる。</p> <p><u>一方で</u>、SNS には長い時間見てしまい、依存症になるという欠点がある。<u>けれども</u>、僕は、全部禁止するのではなく、時間を決めて使うルールを作れば、良いと思う。</p> <p><u>したがって</u>、僕はオーストラリアの法律に反対だ。</p>	<p>私はオーストラリアの法律に賛成だ。</p> <p>理由は2つある。第1に、SNS は依存症になる人がいる。YouTube はたくさん動画が出てきて、子どもは長い時間見てしまう。第2に、犯罪に巻き込まれることがある。SNS で知り合った人と本当に会って、だまされたり、お金をとられた子どももいる。</p> <div style="background-color: #0000FF; width: 100px; height: 20px; margin: 5px 0;"></div> <p>したがって、私は16歳より小さい子が SNS を使ってはいけないオーストラリアの法律に賛成だ。</p> <p>一方で、SNS にはたくさんの情報を集めることができるという利点(よいところ)もある。<u>けれども</u>、</p> <p>◇黒板に構成モデルを示す。</p> <p>(私・僕)は、()に(賛成・反対)だ。</p> <p>理由は2つある。</p> <p>第1に、()<u>から</u>だ。</p> <p>根拠</p> <p>第2に、()<u>から</u>だ。</p> <p>根拠</p> <p><u>一方で</u>、反対意見</p> <p><u>けれども</u>、反対意見に対する反論</p> <p><u>したがって</u>、</p> <p>◇集めた意見文は次回までに添削をして、返却する。</p>
2	まとめ	T：今日書いたものを提出してください。	
評価の対象と観点		活動5で、反対意見を想定して、それに対する意見も含んだ意見文を書いているか。	

授業用2	オーストラリア ^こ 子どもは SNS ^{つか} を使ってはいけない	名前
------	--	----

NHK やさしいことばニュース 2025年12月13日

オーストラリアで、10日、^こ子どものSNS
りました。16歳^{さい}になっていない^こ子どもはSNS
ほうりつ
法律です。

教材作成のヒント

時事問題を取り上げる場合、日本語の力を考慮して、NHK やさしいことばニュースや、子ども新聞などを使うことが多い。

SNSには、^こ子どもによくない^{しゃしん どうが}写真や動画などのコンテンツがあります。
ほうりつ ^{きけん}危険から^こ子どもを守ろう^{まも}としています。^{つか}使ってはいけないのは、
Facebook や Instagram、TikTok や X など 10 の SNS です。

^{かいしゃ}会社は、^こ子どもが^{りよう}利用できないようにします。^{ほうりつ いはん}法律に違反すると、いちば
^{おお}ん多くて4950万^{まん}オーストラリアドル、50億^{おくえん}円ぐらいの^{ばっきん}罰金を^{はら}払わなければ
なりません。^{おや}親や^こ子どもへの^{ばっきん}罰金はありません。

教材作成のヒント

授業では字数の指摘をしていないので、原稿用紙を使う必要はないが、字数の目安を確認したいときには、こうしたものを使うこともある。国語の授業や、入試対策をする場合は、縦書き原稿用紙を使う。